

第 32 号

ボランティアの輪を広げよう
— 発 行 —

糸魚川市ボランティアセンター
糸魚川市ボランティア
連絡協議会
(糸魚川市社会福祉協議会内)
新潟県糸魚川市寺町4-3-1
TEL (025) 552-7700
FAX (025) 553-1657

第17回

ボランティアフェスティバル・ふれあいマルシェ

令和5年 8月26日(土) 10:00~12:00 会場 ビーチホールまがたま



猛暑の中でのボラフェスに参加して

—友会 室川義一

8月26日(土)朝からうだるような暑さの中、一の宮会館に集合し打合せをして、駐車場係6名、かき氷係3名の合計9名でビーチホールまがたまに出発しました。

今回も早速待っていたのは地獄のテント設営です。社協事務局の指導のもと設営が完成後、各担当コーナーにわかれて準備に取り掛かりました。

私はかき氷コーナーを担当しましたが、無料配布という事と猛暑で予想を上回る大盛況となり、準備していたカップとスプーンが終わってしまったため、急遽事務局に追加をお願いしました。一般来場者から関係者まで広く



利用していただきましたので、来年も継続させていただきたいと思います。

駐車場係は大きな混乱はなくほっとしましたが、一時満車になってしまったので、ボラ連関係者はなるべく乗り合わせでおいでいただくことの周知徹底を再確認しました。

午後からは演芸家の「江戸屋猫八」さんの記念講演を拝聴しました。動物の声帯模写をご披露いただき、ユーモアを交えてご自身の苦勞体験を話され、心に残りました。

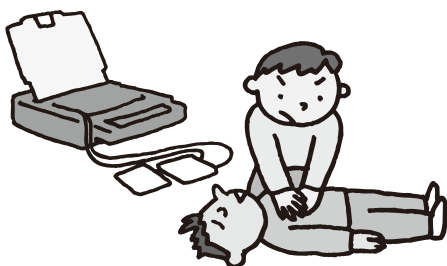
最後に、あの猛暑の中ご協力いただいたボラ連関係者の皆様をはじめ、毎年企画運営に御尽力いただいている社協の皆様へ感謝を申し上げます。来年も糸魚川市ボランティア連絡協議会の力を結集して、一致団結がんばりましょう!

ボランティアフェスティバル活動報告

新潟県赤十字奉仕団糸魚川市分団 河崎文雄

今年の暑さは例年と違い、連日30℃を上回り熱中症警戒情報が発せられる日々でした。そんな中開催されるボランティアフェスティバルに市民の皆様が来場されるか心配でしたが、大勢の方々においでいただき、喜んで精一杯活動しました。

私たちの体験コーナーは「いのちをつなぐ救急法講習」でした。AED(自動体外式除細動器。心肺停止状態の人に電気ショックを与え、心臓の動きを元に戻すための医療機器)を用いた救命手当の講習です。最近では市内各所に設置されているAEDですが、実際に触った事のない人が多いので、大



人も子供もたくさんの皆様に体験していただくことができ、大変嬉しく感じました。

今回の講習のように、一人でも多くの市民の皆さまにAEDの使い方を学習していただくことが、我々の活動の中心です。有事の際には迅速な対応と連携で尊い命を救うことができます。

我々も活動の輪を大きく広げるために分団員一同精進してまいります。

「つなげよう、救命の連鎖」私達にも行えます!!



ボラフェスでの「おもちゃの病院」

おもちゃの病院 五十嵐秀男

8月26日(土)ボラフェスでの「おもちゃ」は久しぶりでした。今では診察する先生も4名しかいない中で当日参加3名で対処しました。この日も連日続いている猛暑となり来客が心配されましたがやはりおもちゃを持って来られる方が少なく拍子抜けした1日でした。

最近のおもちゃは高度化されICチップ1コで動き、光、音が管理されることが多く、我々素人医にとって悩みの種で、直せない自分を責めることが多くなりました。

ある日親子で訪れた子どもの手に動かなくなったおもちゃが有り、絶対直して下さいと言わんばかり



の眼差しで…大人から見るとこんな物がと思われる物でも日頃共にしてきた小さなおもちゃはその子どもにとって大切な宝物なんです。完治した宝物を見る子どもの笑顔に癒されることが、47年間続いている根元かもしれません。

おもちゃの病院は、4月から11月の第4日曜日、10時から12時まで「青海総合文化会館きらら青海」のアトリウムで実施しています。是非遊びに来てみてください。

それからお願いですが最近部品が不足しています。皆様の家に不要となったおもちゃが有りましたら譲って下さい。



ボランティアフェスティバルに参加して

エプロンの会 松澤和子

当日の天気を心配をしていましたが晴天に恵まれました。でも私の心はドキドキでした。自分にとって初めてのことが多すぎたからです。

私たちエプロンの会は、ボランティアさんの昼食作り、ワークセンターにしゅうみさんのメンチカツを揚げる作業、屋外でのキラキラジュース作りを担当しました。

カレーは180食という事で米の量も、野菜・肉の具材の量も大量でしたが、みんなで力を合わせ時間



内に作り終えることができました。ボランティアさんに「ご苦労様」といってカレーを手渡すと、皆さんニコニコ。おかわりや大盛りでという方もおり、一様に美味しいと言って食べてくれて大変嬉しく感じました。大きなお鍋で大量に作るとやはり美味しくなるんですね。

メンチカツも時間内にあげ終わることができました。完売とのことで、安堵しました。

キラキラジュースは、氷・みつ・炭酸をカップに入れて蓋をし、かわいらしいストローを差して提供します。暑い日にぴったりのキラキラした見た目の飲み物でした。

みなさんに助けられ無事終わることができました。ありがとうございました。

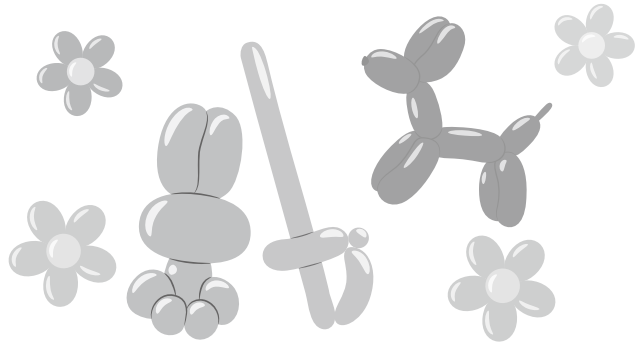


バルーンアート講座に参加して

青海たんぽぽの会 西山 忍

7月26日と8月9日の2回の講習会に参加しました。細長い風船にポンプを使って空気を入れて最後を結ぶのですが、それが又大変でした。そして色々に作り変える時にキュキュと言う音がするのでドキドキしましたが、講習で色々と習って楽しく出来る様になったら音は余り気にならず、1回目が終わりました。2回目は、まず“空気を入れる”、“風船の口を結ぶ”、“色々にひねる”の3段階をマスターし、はじめは簡単な剣を習い、ねこやぞうといった動物と進んで行きました。

製作中は「パーンパーン」と割れる音がするたびにキャーキャーと声をだしながらもたくさんの作品が出来上がり、とても良い雰囲気に成りバルーンアート講座に参加して良かったと実感しました。又何かの時に参加したいと考えています。



能生地区老連

会長 満城 房子

終活という言葉を目にするようになって久しいこの頃、大事な人に先立たれ、残された家族にとって一番の悩みは相続に関する事ではないでしょうか。

今回、糸魚川市社会福祉協議会主催、糸魚川市ボランティア連絡協議会共催の、落語で学ぶ「終活講座」に友人と参加いたしました。

行政書士であり落語家でもある生島清身(いくしまきよみ)先生の軽妙な語り引き込まれ、身近な話題に頷き、笑い、本来ならば重い話も楽しく(?)拝聴したひと時でした。

会場にはご夫婦で参加されている方も多く



みられました。質疑応答では数名の方から相続、遺言に関する質問がでしたが、先生はわかりやすく答えられ、なかにはメモを取られる方も見受けられました。

いただいた「きぼうノート」の【自分らしく生きるために自分の思いをまとめてみませんか】という言葉に、日々の忙しさの中でも、これまでの事を振り返る機会をいただいたのかなと思う今日この頃です。



編集後記

連日、猛暑酷暑が続いている。既に地球温暖化時代は終わり、沸騰化に突入したと言われている。異常気象は他にも迷走台風の発生、連動するように線状降水

帯、ゲリラ雷雨。一体この地球はどこへ向かおうとしているのか。高齢者の一人として、熱中症で救急搬送されぬよう自戒したいものである。

広報部 杉ノ上